

## 会員刊行文献目録

(2017.10 ～ 2018.9)

### ● 著書

- 奥田 昭 『「超聖書入門」―聖書のことは聖書に聴け―』一粒書房、241 頁、1500 円
- 後藤喜良 『「主の祈り」を生きる』いのちのことば社、223 頁、1500 円
- 堀 肇 『心の部屋を空けて』いのちのことば社、158 頁、1200 円
- 山口希生 (共著) 『神の国と世界の回復：キリスト教の公共的使命』教文館、250 頁、1800 円
- 山口陽一 (共著) 『神への従順とキリスト者の抵抗権』いのちのことば社、102 頁、1200 円
- 山口陽一 (共著) 『神の国と世界の回復：キリスト教の公共的使命』教文館、250 頁、1800 円

### ● 訳書

- コーネリス・P・ベネマ著、安黒務訳 『「パウロ研究の新しい視点」再考』いのちのことば社、108 頁、1300 円
- N・T・ライト著、山口希生訳 『新約聖書と神の民 (下巻)』新教出版社、342 頁、3700 円
- L・D・ビエルマ著、吉田隆訳 『「ハイデルベルク信仰問答」の神学』教文館、360 頁、3700 円

### ● 論文

- 坂井純人 「改革派神学における『子とする教理』の歴史的展開と神学的重要性」(『改革派神学』44 号、神戸改革派神学校) 42-77 頁、1300 円
- 徳田 信 「『弱さ』と共同体のキリスト教的意義：ヘンリ・ナウエンとスタンリー・ハワーワスの場合」(『キリスト教社会福祉学研究』50 号、日本キリスト教社会福祉学会) 62-74 頁、1700 円
- 富田雄治 「殉教者ユスティノスによる『新しい契約』の理解」(『歴史神学研究』

1号、歴史神学研究会) 24-46 頁、1000 円

西岡義行 「地域社会に福音となる礼拝共同体」(『伝道と神学』7号、東京神学大学総合研究所) 27-50 頁、1500 円

Nishioka, Y.B. "A Creative Death Ritual: Receptor-Oriented Sense-Making in Japan" in *Traditional Ritual as Christian Worship* (Orbis Books), pp. 158-172, \$50.00

福田充男 (共著)『『バウンダリーズ』概念の保育(育児)実践への適応』(『聖隷クリストファー大学社会福祉学部紀要』16号、聖隷クリストファー大学) 11-29 頁

福田充男 (共著)「生涯発達の視点から見た養育者一子ども関係における境界線形成(バウンダリーズ概念の保育・育児への適用と養育者支援)」(『芦屋学園短期大学研究紀要』44号、芦屋学園短期大学) 59-85 頁

Fukuda, Mitsuo "Bringing the Kingdom of God to the Japanese Business World: A Reproducing Social Cycle," *International Journal of Frontier Missiology*, volume 34;1-4 (Frontier Ventures), pp. 75-84.

山口陽一 「日本の近現代史とキリスト教」[中国語](『済南大学学報』5号、済南大学) 54-62 頁

山口陽一 「近代日本の形成と教会史」[韓国語](『韓国教会と改革派神学』、高神大学校) 493-501 頁

● その他

山口希生 (論評)「原口尚彰著『ローマの信徒への手紙 上』」(『新約学研究』46号、日本新約学会) 79-83 頁

## 部会・理事会報告 (JETS 掲載)

### ●東部部会

#### 1. 理事会構成

◎役員理事：理事長 大坂太郎

書 記 三浦譲

会 計 岩上敬人

◎学 会 誌：三好明、平塚治樹

◎部門理事：聖書神学 平塚治樹

歴史神学 丸山悟司

組織神学 渡辺聡、関野祐二

実践神学 福井誠、岡村直樹

#### 2. 研究会・講演会

春期研究会：2017 年 6 月 12 日（月）、OCC 411 号室

テーマ：「ルターの宗教改革 500 周年 サテナニワイオウカ」

講師：正木牧人氏（日本福音主義神学会全国理事長）

参加者 67 名

#### 3. 第 15 回全国研究会議：2017 年 11 月 6 日（月）～8 日（水）、

OCC 8 階チャペル（東部部会主催）

テーマ：「3 つの『のみ』の再発見」宗教改革 500 年によせて

講師：内田和彦氏（前橋キリスト教会牧師）

鎌野直人氏（関西聖書神学校校長）

稲垣久和氏（東京基督教大学教授）

河正子氏（東京基督教大学講師、

NPO 法人緩和ケアサポートグループ）

山崎ランサム和彦氏（リバイバル聖書神学校校長） ほか

参加者 162 名

#### 4. 会員移動

〈入会〉(正会員) 井野正人氏、石倉 満氏、山口希生氏、渡辺井作氏、  
三原識文氏、天野孝則氏

(準会員) 永井創世氏、井上 淳氏、林 博之氏、下村明矢氏、  
住友 暁氏、川村清治氏

〈退会〉 宮村武夫氏

(2018 年 3 月現在：正会員 136 名、準会員 15 名、賛助会員 12 団体)

#### 5. 2018 年度理事会

役員会：関野祐二(理事長)、三浦 譲(書記)、岩上敬人(会計)、  
聖書神学：平塚治樹、大坂太郎、歴史神学：丸山悟司、  
組織神学：岡村直樹、実践神学：福井誠、渡辺 聡、学会誌：平塚治樹

#### ●中部部会

##### 1. 理事会構成

◎役員理事：理事長 山崎ランサム和彦

書 記 田中 忍

会 計 関昌 宏

◎理事：学会誌 檀原久由

広 報 大庭貴宣

会計監査 河野勇一

##### 2. 研究会・講演会

春期公開講演会：2017 年 5 月 16 日(火)、金山キリスト教会

テーマ：「近代主義—聖書のバビロン捕囚」

講師：藤本満氏

秋期研究発表会：2017 年 11 月 20 日(月)、金山キリスト教会

テーマ：『信仰』をめぐる近年の神学的論議

講師：山崎ランサム和彦氏

#### 3. 中部部会会報 18 号

檀原久由「巻頭言」

藤本 満「聖書のバビロン(近代)捕囚」

山崎ランサム和彦「救いを与える信仰—『信仰』をめぐる近代の神学議論」

河野節子「聖書に見る『食べること』」

下沢賢司、神戸輝明、永江桂子、中山創、中村光芳、柳橋宏祐

「感想文—日本福音主義神学会第 15 回全国研究会議に参加して」

松浦 剛「聖書 新改訳 2017 の読後感」

#### 4. 会員異動

〈転会〉山崎ランサム和彦(東部部会へ)、吉澤慎也(東部部会へ)

(2018 年 4 月現在：正会員 21 名、賛助会員 1 団体)

#### 5. 2018 年度理事会

檀原久由(理事長)、関昌宏(書記)、池上泉(会計)、

大庭貴宣(学会誌)、河野勇一(会計監査)、下山孝佳(広報)

#### ●西部部会報告

##### 1. 理事会構成

◎役員理事：理事長(全国理事長) 正木牧人

書 記：岸本大樹

会 計(全国会計)：鎌野直人

◎理 事：安黒務；学会誌担当、ホームページ担当、記録作成顧問

大田裕作；沖縄連絡担当

金井由嗣；沖縄連絡担当

坂井純人；学会誌編集

杉貴生；九州連絡担当

高木実；九州連絡担当、会員獲得



瀧浦滋；メディア広報、会員獲得

南野浩則；メディア広報

吉田隆；会計監査

## 2. 研究会・講演会

春季研究会議：4月24日(月)、関西聖書神学校

テーマ：「諸力としての罪」

講師：山口希生氏(東京基督教大学共立研究所所員)

応答：川向肇氏(兵庫県立大学大学院准教授)

坂井純人氏、正木牧人氏、吉田隆氏

研究：青木保憲氏(城東福音キリスト教会牧師、同志社大学嘱託講師)

「トランプ新大統領と米国福音派の動向」

伊佐治洋平氏(単立・垂水福音教会副牧師)

「＜キリストのいやし＞の今日的意味についての一考察」

松元百合香氏(コイノニア福音教会牧師夫人)

「聖書が教える牧師夫人の姿に近づきたくて」

中川和哉氏(神戸ルーテル神学校神学生)「教会の循環論」

南野浩則氏「近代における＜自由＞の概念について」

李在永(イ・ジェヨン)氏(神戸改革派神学校研修生)

「ハンナ・アーレントの悪の凡庸性概念と人間の道徳性の考察」

コーディネーター 杉貴重氏、安黒務氏、鎌野直人氏

九州地区・講演会：3月21日(水・祝)、

福音フェロシップ香住ヶ丘キリスト福音教会

テーマ：「聖書翻訳 新改訳 2017 について」

講師：内田和彦氏(日本福音キリスト教会連合前橋キリスト教会)

## 3. 会員異動

〈入会〉徳田信氏、才脇弘道氏、加藤満氏

〈退会〉岩崎幸三氏、春名裕氏、高見一男氏、荒川隆志氏

## 4. 2018 年度理事会

瀧浦滋(理事長)、岸本大樹(書記)、石崎伸二(会計)、

理事：大田裕作、金井由嗣、鎌野直人、坂井純人、杉貴生、袴田康裕、

正木牧人、南野浩則、吉田隆

## ●学会誌報告

1. 学会誌編集委員：安黒務(編集委員長)、坂井純人(西部)、

檀原久由(中部)、三好明(東部)、平塚治樹(東部)

2. 第49号特集テーマ：「福音の理解—義認をめぐって—」

3. 執筆予定者：内田和彦、水草修治、安黒務、檀原久由、他

## ◆全国理事会及び全国研究会議準備委員会議事録◆

日時：2018年6月4日(月) 11:00-16:00

場所：名古屋国鉄会館会議室7階ひかり

出席者：(敬称略)

東部部会 関野祐二(全国理事長)、平塚治樹

中部部会 檀原久由(全国書記)

西部部会 瀧浦滋、石崎伸二(全国会計)、坂井純人(学会誌長)、

正木牧人(前全国理事長) 以下7名

## I. 全国理事会

御言葉と祈り：西部理事長(瀧浦) 詩篇 107:1、ヨハネ 5:1-9

暫定書記に石崎が指名される。

## 【報告事項】

1. 各部会報告(2017年度活動報告、総会報告、会計報告等)

●東部(関野)：理事会構成が変わった。新役員会：関野祐二(理事長)、

三浦譲(書記)、岩上敬人(会計)、聖書神学：平塚治樹、大坂太郎、歴

史神学：丸山悟司、組織神学：岡村直樹、実践神学：福井誠、渡辺聡、

学会誌：平塚治樹。

●中部（檀原）：新役員は、理事長：檀原久由、書記：関昌宏、会計：池上泉、学会誌：大庭貴宣、広報：下山孝佳、会計監査：河野勇一。現在会員は減少傾向にある。

●西部（正木）：九州に部会を開くことを推進している。沖縄地区との交流を図っている。有給で事務をお願いしていた方がいたが、元に戻し、昨年3月で事務を引き継いだ。新理事長：瀧浦滋、書記：岸本大樹、会計：石崎伸二。新年度の西部部会では、春は身体性、秋はマリア論について学ぶ予定。会員は約150名。減少傾向にある。教派立の神学校の協力体制がある。

●全国会計報告（石崎）：全国研究会議の会計報告が挙がっていないので、担当者（岩上）から会計報告を出してもらう。今後の支出を考慮して、修正したものを全国書記に送るように求めた。

理事会は、2017年度の各部会報告・会計報告等を承認した。

## 2. 学会誌編集委員会報告

坂井委員長から資料に基づき報告があった。編集委員の人事の変化、出版行程の変化、広告収入の件の報告等があった。出版が遅れたので、掲載ルールを作った。平塚より、2018年度から組み版を担当していた吉川がいなくなるので外注となった旨の説明、校正担当の必要、費用の増加の報告が挙がった。今後、校正経験者が必要になるので探す。学会誌売上予算を5万円に修正し、名簿作成費の項目を削除することを確認して、理事会は2017年度会計報告を承認した。

### 【審議事項】

1. 全国理事の役割分担を決定した。理事長：関野（任期2年）、書記：檀原、会計：石崎。書記がJETS誌を担当する。全国理事長が交代したときは事務引継ぎがあることから、必要に応じて前理事長の出席を求めることができることにする。その際、理事会への出席費用を一人分多く出すことを了解した。2018年度全国会計の予算案を承認した。

2. 昨年からの審議案件を話し合った。その結果、下記3件の案件を各部会に提案し、各部会での審議の結果を次の全国理事会に持ち寄る。規約改正になるので、各部会の議を経て次の全国理事会で決定することとする。

①役員構成の増員：全国理事会には会計監査がないので設ける必要があるが、全国理事会出席者の中から会計監査担当理事を決めれば、出席する人数を増やす必要がなくなる。第8条2項に、『会計監査担当理事』を付加する。

②事務所所在地：事務所の所在地に関しては、担当者が変わるたびに变更されているのが実情。そこで、所在地の表記に関しては、全国理事会への報告事項とする。変更が起こるたびに規約の変更手続きが必要になるので、各部会事務所所在地の明示について、第11条に以下の文言を加える。『第2条の各部会の事務所所在地については、毎年全国理事会で全国書記に届け出ることで足りるものとする』。これによって、毎回の規約改正を行うことが避けられる。

③退会規定：細則には入会規定（2名の推薦と部会承認）があるのに退会規定がない。退会手続きと会員資格等について審議した結果、退会規定を加えることを提案する。退会に関する条項を加えることを各部会です承してから、細則に入れることとする。また、入会申込書の訂正を行う。

審議の際、次のような意見交換、情報交換を行った。

●各部会報告の際に、入会者・退会者に加え、転入・転出者も報告することを求める。

●細則第2条会員資格審査は、部会でできるとある。第3条には名誉会員の項がある。決め方は部会理事会に委ね、その議を経て全国理事会で承認してはどうか。

●神学生は準会員になっているが、卒業後には自動的に正会員になるのかという質問があった。教職者や研究者になったら正会員となってもらい必要がある。入会申込書に「神学校卒業後、教職者や研究者になった場合、正会員になります」というような欄を設けてチェックしてはどうか。「教職またはそれに準ずる者」とか。書式を改訂する必要がある。「退会を希望する者は各

理事会に申し出ることとする。」と明文化したほうがよい。

- 会費未納者の場合は、西部は5年間学会誌を送って督促するが、6年目からは学会誌は送らず督促している。中部はできるだけ留まるように配慮しながら、学会誌を送らないことを検討している。東部は今年の7月の理事会で検討する。

- 西部部会から提案のあった『三位一体』という文言を第3条に加える件について、東部部会と中部部会で検討することになっている。今後話し合う必要があるので、西部部会に対して本提案の趣旨を明文化した文書の提出を求めることとした。西部部会の11月19日の理事会で検討する。
- 学会誌：投稿論文について掲載の要求を求め続ける会員があり、対応に苦慮しているとの報告があった。事務的に対応してもよいが、もともと投稿論文のスタートは人材発掘の意味もあった。「所属部会の理事が内容に関する推薦状を付して投稿することもできます」というような文言を入れたり、募集要項を変更したり、工夫を考えてはどうか。結局、理事会ではなく編集委員会に論文掲載の可否の権限、編集方針の権限を委ねることとした。2018年度予算案を承認した。
- JETS誌：檀原が担当になる。巻頭言は関野が担当し、9月発行予定。

## II. 第15回全国研究会議の報告

東部部会の資料から関野が説明。昨年の11月6日～8日の全国研究会議には162名の参加者。最終的な会計報告の提出を東部部会に求めた。全国研究会議の総括があり、各理事からの感想と次回への期待を聞いた。分科会がなかったので、もっと参加型がよいとの意見があった。

## III. 2020年全国研究会議

- 西部部会が担当となり、その準備報告があった。2020年11月8日から10日にかけて、大阪クリスチャンセンターで開催予定との提案があり、承認された。
- 来年の全国理事会には各部会の担当者を決定して送ってもらう必要があ

る。各部会の担当者を各2名、秋ぐらいまでにあらかじめ決めて西部の書記に連絡してほしい。

- テーマとしては『宣教論』が良いのではないか。福音主義がポジティブに同じ方向を向くのは良いのではないか。伝道を神学する。宣教論と教会論も併せて考えてはどうかというような意見が挙がった。

## IV. 次回全国理事会開催日程と場所

- 6月3日11時～16時、名古屋国鉄会館、次回の全国研究会議の準備会を最初に持つ。開会のみ言葉担当者：関野

閉会の祈り：関野

日本福音主義神学会全国会計  
2017 年度決算報告および 2018 年度予算

## 2017 年・全国研究会議会計報告

## 収入の部

| 科 目   |         |        |
|-------|---------|--------|
| 準備金   | 200,000 | 全国会計より |
| 登録参加費 | 564,500 |        |
| 会場献金  | 69,253  |        |
| 合 計   | 833,753 |        |

## 支出の部

| 科 目     |         |
|---------|---------|
| 事務費     | 59,477  |
| 会場費     | 122,000 |
| 会議費     | 1,000   |
| 講師謝礼    | 140,000 |
| 接待費（会食） | 66,949  |
| 準備金返金   | 200,000 |
| 東部会計へ繰越 | 244,327 |
| 合 計     | 833,753 |

## 収入の部

| 項 目    | 2017 年度予算 | 2017 年度決算 | 2018 年度予算 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 東部分担金  | 360,000   | 360,000   | 360,000   |
| 中部分担金  | 70,000    | 70,000    | 70,000    |
| 西部分担金  | 400,000   | 400,000   | 400,000   |
| 学会誌売上  | 100,000   | 55,407    | 50,000    |
| 広告収入   | 150,000   | 130,000   | 150,000   |
| 献金     | 0         | 200,000   | 0         |
| 雑収入    | 0         | 0         | 0         |
| 基金から繰入 | 0         | 0         | 0         |
| 前年度繰越  | 934,311   | 984,311   | 1,048,326 |
| 合 計    | 2,014,311 | 2,199,718 | 2,078,326 |

## 支出の部

| 項 目     | 2017 年度予算 | 2017 年度決算 | 2018 年度予算 |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 学会誌出版費  | 800,000   | 800,000   | 900,000   |
| 全国理事会費  | 150,000   | 132,168   | 150,000   |
| 事務通信費   | 10,000    | 432       | 10,000    |
| ニュース発行費 | 35,000    | 18,792    | 20,000    |
| 研究助成費   | 0         | 0         | 0         |
| 全国研究会議費 | 0         | 0         | 0         |
| 基金へ繰出   | 0         | 200,000   | 0         |
| 雑費・予備費  | 1,019,311 | 0         | 998,326   |
| 次年度繰越   | 0         | 1,048,326 | 0         |
| 合 計     | 2,014,311 | 2,199,718 | 2,078,326 |

総 計

現在額

| 項 目      | 金 額       | 項 目  | 金 額       |
|----------|-----------|------|-----------|
| 出版基金     | 1,208,421 | 郵便振替 | 2,456,747 |
| 全国研究会議基金 | 200,000   | 現金   | 0         |
| 次年度繰越    | 1,048,326 |      |           |
| 合 計      | 2,456,747 | 合 計  | 2,456,747 |

## 論文執筆・投稿要項

——『福音主義神学』原稿執筆についてのお願い——

日本福音主義神学会

### 1. 提出方法

原稿は、ワープロで提出してください。コンピュータによる場合は、MSワードがベターです（この件に関しては各部会の編集委員にご相談ください）。ファイルのほかにプリントアウトしたものを付け、その上で、文字の強調やイタリックを示してください。論文中のヘブル語の表記は、子音のみならば、ヘブル語、その他の場合は音写による（カナまたはラテン文字）。ギリシャ語は原文のまま（特にアクセント、ブリーディングを正確につけてください）。論文は横書きですので、数字はアラビア数字になっていることを確認してください。

### 2. 枚 数

論文、研究ノートは15,000字から18,000字（たとえば、B5の紙、30字×30行のレイアウトで、16頁から20頁。書評、文献紹介は、2,000字から4,000字程度（先のレイアウトで3頁から5頁）。字数が超過した場合、書き直しをお願いすることがあります。

### 3. 締切期日

論文は毎年6月末日までに所属する部会（東部、中部、または西部）の編集者に提出してください。書評、紹介なども同様とします。

### 4. 投 稿

論文、書評の依頼は編集委員会から行いますが、論文を投稿することもできます。この場合、まず投稿論文のアウトラインと要旨を3月末日までに所属の部会の編集者に原稿を提出します。そして、編集委員会の審査を受けることになります。採用された場合、原稿の締め切りは6月末日

です。いずれの場合にも、原稿の最終取舍選択権は編集委員会にあります。

## 5. 注 記

注については、最近号の『福音主義神学』を参照してください。

## 6. 校 正

論文の校正は編集委員会でも行いますが、執筆者の方には組版の段階でチェックをお願いしますので、責任をもって校正をしてください。なお、原稿提出後の訂正は最小限にし、する場合にも、ほぼ同一字数内での差し替えを原則とし、数行にわたる組み替えを必要とする加筆、削除などはご遠慮ください。発行後に誤字や脱字が明らかになった場合には、次号で訂正いたします。

## 7. 原 稿 料

懸賞論文以外のものについて、原稿料は支払われません。論文については、会誌を10部、書評などに対しては3部を執筆者に贈呈します。

### 文献表記の仕方について

#### 1. 邦語文献

##### (1) 単行本

- ・佐々木順三『教会暦年の研究』（聖公会出版社、1939年）54頁
- ・ルネ・パーシュ『イエス・キリストの再臨』（いのちのことば社、1978年）53－54頁を参照。

(2) 一つの本の中に多くの著書があり、その一つひとつが独立した論文になっている場合

- ・岸本通夫「印欧語の移動とヒッタイト王国の台頭」『岩波講座、世界歴史』I（岩波書店、1969年）161－163頁

##### (3) 論文

- ・内田和彦「新約聖書における福音と文化」『福音主義神学』第19号（日本福音主義神学会、1988年）96－117頁

(4) 直前に引用した本を続いて引用する場合  
前掲書、32頁

(5) 間に別の本が入っている場合

- ・ルネ・パーシュ『イエス・キリストの再臨』（著者名と書名だけ）60頁

## 2. 外国語文献

一般原則は、次の本を、表記の具体例は（a）以下を参照してください。

Kate L. Turabian, *A Manual for Writers of Research Papers, Theses, and Dissertations*, 8th ed. (Chicago: The University of Chicago Press, 2013)

### (a) Books

#### One Author

Paul Thillich, *Systematic Theology*, 3 vols. (Chicago: University of Chicago Press, 1951—63), 9.

#### Three authors

Bernard R. Berelson, Paul F. Lazarsfeld, and William McPhee, *Voting* (Chicago: University of Chicago Press, 1954), 93—95.

#### More than three authors

Jaroslav Pelikan et al., *Religion and the University*, York University Invitation Lecture Series (The University of Toronto Press, 1964), 109.

#### Editor as "author" (same form used for compiler)

J.N.D. Anderson, ed., *The World's Religions* (London: Inter-Varsity Fellowship, 1950), 143.

#### Article in a journal

Don Swanson, "Dialogue with a Catalogue," *Library Quarterly* 34 (December, 1963), 115.

### (b) "Ibid"

When references to the same work follow each other without any intervening reference, even though the references are separated by several pages, abbreviation "ibid." for the Latin ibidem, "in the same place" is used to repeat as much of the preceding reference as is appropriate for the new entry:

1 Max Plowman, *An Introduction to the Study of Blake* (London: Gollacs, 1952), 32. [A first, and therefore complete, reference to the work.]

2 Ibid. [With no intervening reference; a second mention of Plowman's work requires only "Ibid." Notice that "Ibid." is not underlined.]

3 Ibid., 68.

For a book, a second or later reference to a work already cited in full form, but not in the reference immediately preceding, omits the facts of publication, series title, if any, edition (unless more than one edition of the same work has been cited), and total number of volumes. Thus pared down, the reference consists of author's last name, title of the work, with page, and volume number as well, if necessary. Note the full reference in footnote 1 and a later reference to the work as shown in (arbitrarily numbered) footnote 9.

1 Gabriel Marcel, *The Mystery of Being*, 9 vols. (Chicago: Henry Regnery Co., 1960), 1:42.

9 Marcel, *Mystery of Being*, 2:98-99.

## 賛助会員一覧

日本福音主義神学会の運営は、次の賛助会員、諸教会、諸団体によって支えられております。ここに心からの感謝を申し上げます。

### 〈東部部会〉

日本基督バプテスト連合宣教団  
東京基督教大学  
東京聖書学院  
聖契神学校  
中央聖書神学校  
日本キリスト改革派東京恩寵教会  
中央福音教会  
練馬バプテスト教会  
練馬神の教会  
北海道聖書学院  
日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団  
ベテルキリスト教会  
イムマヌエル聖宣神学院

堺大浜キリスト教会  
四條畷キリスト教学院  
福音聖書神学校  
日本キリスト改革派神港教会  
神戸神学館  
大阪聖書学院

### 〈中部部会〉

東海聖書神学塾

### 〈西部部会〉

関西聖書学院  
関西聖書神学校  
神戸改革派神学校  
神戸キリスト教書店  
神戸ルーテル神学校

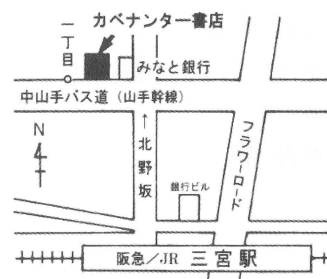


キリスト教書専門店  
**カペナター書店**  
Covenanter Book Room



- \*聖書・注解書・語学書
- \*子どもの本
- \*入門書・信仰書・神学書
- \*ギフト・カード

和・洋  
取り揃え



全国へ通信販売も致します。

ご注文は Tel/Fax、E-mail より。  
ホームページからもご購入いただけます。



- 営業時間 午前 10:00 ~ 午後 6:00
- 営業日 月曜日 ~ 土曜日 ■ 定休日 日曜日・祝日
- 〒 650-0004 神戸市中央区中山手通 1-25-2
- Tel/Fax 078-242-7003
- E-mail covenant@hf.rim.or.jp
- ホームページ <http://covenanter.comyu.org/>
- CBR ニカ国語夕礼拝 毎月第一日曜日 午後 6:00 ~



**CBS**  
**キリスト聖書神学校**

CBSは超教派の神学校です。福音派における理念の上に成り立っている神学校ですが、神学的には特に改革派神学に重点を置いています。

理事長 マイケル・オー

教師陣 マット・ニューカーク、クレイグ・チェイペン、大庭貴宣、デイモン・チャ、ブレット・レイル

学科：神学修士課程（按手コース、非按手コース、教会刷新及び教会開拓コース〈2019年度新設〉）一般キリスト教学修士課程、一般キリスト教学修了証課程

願書締切：毎年 1 月末日

〒 453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤 1-4-10

〈お問い合わせ〉 052-462-8331 または [info@shingakkou.net](mailto:info@shingakkou.net) 〈HP〉 <http://shingakkou.net>



超教派  
**関西聖書神学校**

これは権勢によらず、能力によらず、わたしの霊によるのである。（ゼカリヤ 4:6）

- ◇ 理事長：小菅 剛 校長：鎌野直人 舎監：川原崎 晃、川原崎千恵子
- 本科 4 年（インターンシップ 1 年を含む）
- 教育方針 聖書のきよめと人格教育を強調した霊性の養成  
世界的視野をもった伝道者を育てる霊的・知的・実践的訓練  
聖書の教会観に立つ牧会者の養成

\* 2020 年の新校舎完成に向けて、2019 年から建築工事に着工します。

- 願書締切 （一次） 2019年2月1日（金） （二次） 2019年2月22日（金）
- 入学試験 2019年2月9日（土） 2019年3月2日（土）

\* お問い合わせ、入学案内、体験入学は下記まで。

〒 655-0872 神戸市垂水区塩屋町 6-32-15 TEL 078-751-2126 / FAX 078-751-2311  
URL: [kbc-bw.sakura.ne.jp](http://kbc-bw.sakura.ne.jp) / E-mail: [kbc-bw@vanilla.ocn.ne.jp](mailto:kbc-bw@vanilla.ocn.ne.jp)

日本キリスト改革派教会 **神戸改革派神学校**

● 学生募集 ●

理事長 風間 義信 校長 吉田 隆

- 教育方針 歴史的改革派神学に立って、キリスト教教師の養成と正統神学の建設をなす。
- 本科（4 年）受験資格 1 年以上の忠実な教会員生活を送り、みことばの役者となるべく神からの召命を自覚している 4 年制大学卒業、あるいは同等の学力のある者。
- 短期課程（2 年）受験資格 1 年以上の忠実な教会員生活を送り、教会の奉仕者になるべく神からの召命を自覚している短期大学卒業、あるいは同等の学力のある者。
- 他に特別研究科、聴講制度あり。



- 願書締切 2019 年 1 月 10 日（木）までに提出のこと
- 修学年限 本科 4 年（4 年制大学卒または同等以上の者）  
短期課程 2 年（短大卒または同等以上の者）
- 所在地 651-1306 神戸市北区菅浦が丘 3 丁目 1-3  
電話 078-952-2266 FAX 078-952-2165 郵便振替 01140-5-12672  
e-mail: [rcj-kobe2266@nifty.com](mailto:rcj-kobe2266@nifty.com) HP: <https://krt.net>
- 試験日 2019 年 2 月 12 日（火）



創立 1901 年 ますます拡充、前進を続ける。

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1

Tel 042-391-3076 (事務所(火)~(金)9~5時)

Fax 042-397-7558

交通/西武新宿線東村山駅または

武蔵大和駅下車

# 東京聖書学院

【特 色】

● 聖書の十全靈感を信じ、聖化の信仰に立つ聖書神学重視

【募集科目】

(1) 本科 (大学卒 3 年、高校卒 4 年) \*その他インターン制度あり

\*本科生は原則として全寮制、\*本科入学希望者は、教会において献身者としての奉仕経験及び訓練が半年以上あることが求められます。

(2) 一年訓練コース (信徒の立場で主に仕えたい、教会で奉仕したいと願う

人々のために設けられたコース) \*原則として全寮制

(3) 信徒コース (通学生、通信生)

\*講座名、申込方法については学院事務所にお問い合わせください。

【入学要項】

2019 年度入学 願書締切: 2019 年 2 月 27 日 (水)

入学試験: 2019 年 3 月 7 日 (木)

提出書類、授業料、食費その他については学院事務所に問い合わせてください。

<http://www.jhc.or.jp/tbs/>

e-mail: tbs@jhc.or.jp



## 福音聖書神学校

校長: 杉 貴生 教務: 南野浩則 学生監: 藤井義生

モットー: 当神学校は、聖書に基づく神学教育を施し、宣教的・平和的視野を持った働き人を育成します。他の福音主義神学からも謙虚に学びつつ、実践に強い働き人を育成する神学校を目指します。

課 程: 本科神学課程 (大卒、あるいはそれと同等の学力を有する者、3年)

教会伝道者課程 (レイマン) 信徒説教者課程 (通信制) 聴講制度あり

入学手続: 願書締切 2019 年 2 月 4 日 (月)

入学試験 2019 年 2 月 19 日 (火)、聖書・国語・英語の筆記試験と面接  
詳細は神学校宛に問い合わせてください。

教 師 陣: 日本メノナイト プレザレン教団の教職 他

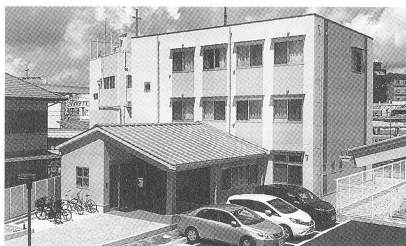
備 考: 教会伝道者課程は信徒指導者養成を目的としていますが、本科への転入もできます。

日本メノナイト プレザレン教団立 (超教派的に学生募集)

〒563-0032 大阪府池田市石橋 2 丁目 17-10-B TEL 072 (761) 1397

FAX 072 (761) 8200

<http://ebs.sakura.ne.jp/EBS> e-mail: ebs@japan-mb.com



ペンテコステ信仰にたって福音宣教の  
使命に燃える者を訓練・育成する

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

# 中央聖書神学校

校長 北野 耕一

修業年限 高卒 — Dip. / B.th. 大卒 — B.th. / M.Div. (ATA 認定)

入学資格 高卒以上、召命の確信がある者

本 科: 願書締切 2019 年 1 月 28 日 (月) 入学試験 2019 年 2 月 19 日 (火)

通信科: 願書締切 2019 年 2 月 18 日 (月) 入学試験 2019 年 3 月 2 日 (土)

本 科 〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20

通信科 Tel: 03-3918-4925 Fax: 03-3918-4064

e-mail: cbc@ag-j.or.jp <http://www.cbc-j.ac.jp>

十字架と聖霊 そして宣教

理事長: 福野正和

学院長: 大田裕作



## 関西聖書学院

1961 年創立

【特 色】全寮制・実践科目も充実!

福音派にも聖霊派にも通用する実践的働き人の育成

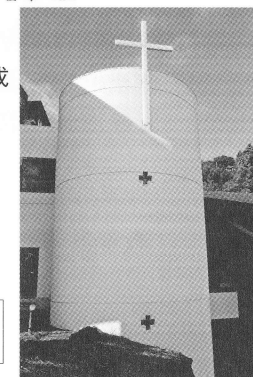
【コース】導きや献身を確かめながら、

3 週間コースからスタートできます

◆短期コース (毎年 4 月 3 週間)

◆1 年コース (信徒リーダー・役員コース)

◆3 年コース (教職者コース)



MTC 宣教師訓練コース

CPRC 教会開拓・刷新コース  
月 1 回 1 泊 2 日 2 年間

〒630-0266 奈良県生駒市門前町 22-1 TEL: 0743-70-8600 FAX: 0743-70-8601

E-mail: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp URL: <https://www.kbiwave.com/>

## 神戸ルーテル神学校

所在地：〒651-0052 神戸市中央区中島通2-3-5

☎ 078 (221) 6956 Fax 078 (221) 5825

校長：正木牧人 教務：石崎伸二 教授：橋本昭夫、鍋谷堯爾 ほか  
ルーテル教会（近畿・西日本両福音ルーテル教会）、超教派

◇創立1957年●神学修士課程 M. Div.（大卒者）、教職課程（聖書学院卒、高卒者）、履修期間3年1学期。牧師を助ける信徒の課程新設（ステファンコース）●特色：北欧ルーテル教会の福音的聖書主義に立つ。学生は超教派で受け入れる●本校神学修士課程はアジア神学協議会認定。米国フラー神学校、コンコーディア神学校と履修単位を相互認定。著名神学校・大学院への入学可●通信神学講座―履修可能科目：ヘブル語、新約学、旧約学、説教学、実践神学、歴史神学（充実した執筆陣と懇切な指導）。随時申し込み可●神学リフレッシュ・コース（6月、10月）、語学集中講座―ヘブル語、ギリシャ語



### 第47期生 募集

願書締切：2019年2月20日 入試日：3月初旬

上記に関する資料請求、お問い合わせは本校事務局へ。

E-mail：office@koluthse.jp

ホームページ：http://www.koluthse.jp

## 神戸神学館 改革長老教会公認

### 米国ピッツバーグ改革長老神学校提携

- ・聖書研修課程（1年・2年・4年制）
- ・伝道者訓練過程（2・4年制）
- ・聖書信仰と改革長老神学

聖書語学・聖書・教理・歴史・説教他

教務会 瀧浦滋（代表・釈義神学）、坂井純人（書記・組織神学・歴史神学）、金森宏之（弁証学・聖書語学）、遠藤克則（実践神学）

夜間・単位制（火・木・金曜）

神戸市中央区中山手通1-25-2 Tel/Fax 078-230-1199

教務 078-452-5310 stakiura@nifty.com www.rpjapan.org

## 大阪聖書学院

（創立 1937年）

学院長 岸本 大樹

理事長 ウォルター・マクセイ

\*

大阪聖書学院は「キリストの教会」（Christian Churches and Churches of Christ）の諸教会に支えられている神学校ですが、福音自由、アドベント、バプテスマなど、超教派的に学生を受け入れ、講師の先生方についても「キリストの教会」以外から多数お迎えしています。堅く福音主義に立ち、原典教育（ギリシア語、ヘブライ語）と教会史の学びに力を入れています。

牧師や牧師夫人を志す方のみならず、信徒として福音宣教のために主に仕えたいと願う方にも門戸を開いています。入学資格は高卒以上で、原則として全寮制となります。

\*

教師・講師（2019年度）

池田基宣、杉山世民、田口 望、老松 望、大塚春香、吉良賢一郎、小林久実、澤 浩士、高木 実、千田俊昭、徳永 大、豊田信行、舩田基一、南野浩則、森田悦三、横堀葉子、ポール・クラーク

◆本科 聖書基礎課程：1年 / 聖書教育課程：2年または3年 / 聖書神学課程：4年

◆特別研修科（通信課程）：3年

入学願書締切 2月第1金曜日 入学試験 3月第1金曜日（応相談）

〒535-0003 大阪市旭区中宮4丁目2番11号 TEL・FAX 06 (6951) 5882

\*大阪駅から市バス34番「守口車庫行」に乗り、「城北公園前」下車、徒歩3分

e-mail obs@church.ne.jp HP www.church.ne.jp/obs/



都心にある超教派の神学校

## 聖契神学校 COVENANT SEMINARY

敬虔主義の伝統に立った健全な神学と、実践を重視した教育。働きながら学べる単位積み重ね方式で、昼夜間の授業があり、一年ごとに同一の授業内容が昼夜間で交替するユニークな制度。仕事や生活の状況に合わせ、卒業までの年数、昼夜間クラスの組み合わせ等を各自で設定。

校長 関野祐二

教師陣 赤星典徳、井上 義、井上 誠、勝本正實、ギャリー・カールソン、杉本玲子、関野祐二、ジム・ピーターソン、本多公久、松原 智、松本雅弘、丸山悟司、山崎ランサム和彦、吉川直美

学 科 1. 基礎科〈信徒奉仕者養成〉  
2. 専門科〈牧師・伝道者養成〉

聴講制度あり（春4月・秋10月より）。2年間4科目受講可。

\*教育課程 2018年4月開始

入試日程 〈入学願書受付締切〉2019年2月23日 〈試験日〉2019年3月1日

〒153-0061 東京都目黒区中目黒5-17-8 TEL 03 (3712) 8746 FAX 03 (3712) 8804

〈HP〉http://www.seikei-seminary.org/ 〈E-mail〉covenant-seminary@nifty.com



# 『福音主義神学』

## バック・ナンバーご希望の方へ

既刊四十八冊の『福音主義神学』バック・ナンバーの残部は僅少ですが、在庫分は割引価格でご購入いただけます。

### 特集テーマ

本体価格

|     |           |        |
|-----|-----------|--------|
| 一五号 | 「福音主義聖書論」 | 一、七〇〇円 |
| 一六号 | 「生と死」     | 一、七〇〇円 |
| 一七号 | 「釈義と説教」   | 二、〇〇〇円 |
| 一八号 | 「教会論」     | 二、〇〇〇円 |
| 一九号 | 「福音と文化」   | 二、五〇〇円 |
| 二〇号 | 「創造論」     | 二、五〇〇円 |
| 二一号 | 「福音と日本文化」 | 二、五〇〇円 |
| 二二号 | 「救済論」     | 二、八〇〇円 |
| 二三号 | 「聖霊論」     | 二、八〇〇円 |
| 二四号 | 「礼拝論」     | 二、八〇〇円 |
| 二五号 | 「科学と信仰」   | 二、五〇〇円 |
| 二六号 | 「戦後日本の教会」 | 二、五〇〇円 |
| 二七号 | 「戦争」      | 二、五〇〇円 |
| 二八号 | 「人間の宗教性」  | 二、五〇〇円 |
| 二九号 | 「説教」      | 二、五〇〇円 |
| 三〇号 | 「聖書解釈学」   | 二、五〇〇円 |
| 三一号 | 「終末論」     | 二、〇〇〇円 |

## 福音主義神学 第49号

2018年12月20日発行

定価：本体 1,500円＋税

|                  |                                                                             |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 編集者              | 坂井 純人（西部・編集長）<br>南野 浩則（西部）<br>大庭 貴宣（中部）<br>平塚 治樹（東部）                        |
| 発行<br>理事長<br>事務局 | 日本福音主義神学会<br>関野 祐二<br>205-0017 東京都羽村市羽西2-9-3<br>三浦 譲 気付<br>日本福音主義神学会東部部会事務局 |

印刷 PRINT BANK（プリントバンク）  
116-0002 東京都荒川区荒川 5-1-1-1003

ご希望の方は、直接、発行者あるいは各部会事務局まで注文、お問い合わせください。

|     |                      |        |
|-----|----------------------|--------|
| 三二号 | 「女性教職論」              | 二、〇〇〇円 |
| 三三号 | 「牧会カウンセリング」          | 二、〇〇〇円 |
| 三四号 | 「『いのち』をめぐる」          | 二、〇〇〇円 |
| 三五号 | 「讃美歌」                | 二、〇〇〇円 |
| 三六号 | 「祈り」                 | 一、五〇〇円 |
| 三七号 | 「霊性」                 | 一、五〇〇円 |
| 三八号 | 「日本の宣教を考える」          | 一、五〇〇円 |
| 三九号 | 「病と癒し」               | 一、五〇〇円 |
| 四〇号 | 「伝道」                 | 一、五〇〇円 |
| 四一号 | 「神学会創立40周年記念」        | 一、五〇〇円 |
| 四二号 | 「聖餐」                 | 一、五〇〇円 |
| 四三号 | 「説教」                 | 一、五〇〇円 |
| 四四号 | 「ホリスティックな宣教」         | 一、五〇〇円 |
| 四五号 | 「福音主義神学、その行くべき方向(1)」 | 一、五〇〇円 |
| 四六号 | 「福音主義神学、その行くべき方向(2)」 | 一、五〇〇円 |
| 四七号 | 「福音の理解―罪をめぐる―」       | 一、五〇〇円 |
| 四八号 | 「福音の理解―信仰をめぐる―」      | 一、五〇〇円 |

バックナンバーはホームページで閲覧できます。http://www.evangelical-theology.jp/

2019 年度『福音主義神学』会員刊行文献目録作成のために

学会誌『福音主義神学』編集委員会では、「会員刊行文献目録」の作成にあたり、下記申請用紙での郵送のお申し込みのみ承っております。メールでのお申し込みは、送受信のトラブルが起こる場合がございますのでご遠慮ください。ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

日本福音主義神学会 編集委員会

『福音主義神学』50 号 会員刊行文献目録申請用紙

\* 出版年月が 2018 年 10 月～2019 年 9 月に該当するもので、著書・論文、訳書・訳論文が基本です。

\* 新聞記事、雑誌原稿、エッセー、またはそれに準ずるもの、及び『福音主義神学』掲載論文は範疇外です。掲載の可否についての最終的な判断は編集委員会に委ねていただきます。

\* 記入する項目が足りない場合は、この用紙をコピーして用いてください。

\* 提出期限は、2019 年 10 月末日とします。 郵送先：〒272-0805 千葉県市川市大野町 4-2831-10 平塚治樹

<著書・訳書>

| 著者名／訳者名 |       | 書籍タイトル | 出版社 | 総頁数 | 頒価 |
|---------|-------|--------|-----|-----|----|
| 著<br>訳  | 単著・共著 |        |     | 頁   | 円  |
| 著<br>訳  | 単著・共著 |        |     | 頁   | 円  |

<論文・訳論文>

| 著者名／訳者名 |       | 論文／担当部分タイトル | 掲載誌／書籍タイトル | 号 | 出版社 | 該当頁 | 頒価 |
|---------|-------|-------------|------------|---|-----|-----|----|
| 著<br>訳  | 単著・共著 |             |            | 号 |     | ～ 頁 | 円  |
| 著<br>訳  | 単著・共著 |             |            | 号 |     | ～ 頁 | 円  |
| 著<br>訳  | 単著・共著 |             |            | 号 |     | ～ 頁 | 円  |
| 著<br>訳  | 単著・共著 |             |            | 号 |     | ～ 頁 | 円  |

<その他> (HP 掲載論文は URL をご記入ください)

|  |
|--|
|  |
|--|

申請者氏名 \_\_\_\_\_ メールアドレス \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_